

謹賀新年

平成28年 年頭のごあいさつ



明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、夢と希望に満ち溢れた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、9月に関東・東北豪雨があり、常総市をはじめ県内各地で大きな被害が発生しました。行方市としましても、現地への職員派遣や救援物資の提供などできる限りの支援を行いました。改めて、現在進めている防災対応型地域エリア放送の活用やタイムライン（防災行動計画）の策定など、災害に強いまちづくりを構築する重要性を認識したところです。

また、昨年は、市制施行10周年の記念すべき年であり、次の10年20年を見据えた持続可能な行方市づくりのための地方創生元年でもありました。3月には、市

民の積極的な参加により行方市版総合戦略と第二次総合計画の策定が見込まれております。

このため、本年は、未来の行方市づくりに向けた主要施策を進めるスタートの年にあたります。具体的には、第一のプロジェクトとして、6次産業化や地場産業の育成などに取り組み「安心して働ける行方市」づくりを進めていきます。

第二に、医療体制の整備や健康づくり事業の推進などに取り組み「健康で長生きな行方市」づくりを進めていきます。

第三に、定住促進や公共交通の確保、ICT（情報通信技術）の活用などに取り組み「住みやすく持続可能な行方市」づくりを進めていきます。

第四に、子育て支援や教育の充実などに取り組み「み

んなで育む子育ての行方市」づくりを進めていきます。

「継続から変革」への基本理念により、市民の皆さまとともに、「笑顔あふれる活力ある行方市」づくりにまい進しますので、ご理解ご支援をお願いいたします。

年頭にあたり、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



笑顔あふれる活力ある行方市
の実現に向けて

行方市長 鈴木 周也



誇れる湖と肥沃な台地 笑顔輝くゆめタウンなめがた

明けましておめでとうございませう。

市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また、日ごろからの市議会への深いご理解と議会活動に対する温かいご支援ご協力に対して、改めて厚くお礼申し上げます。

市議会につきましましては、昨年4月の任期満了に伴い改選され、市制施行10周年を迎える節目の年に新たな体制の下にスタートしたところです。新年を迎え、二元代表制の一翼として、地方自治体の意思決定機能と執行機関の監視機能を十分に果たし、その信託に応えていくべく、身の引き締まる思いです。

さて、昨年は、自然の脅威の懸念も膨らんだ年でもありました。台風18号などの影響では、常総市で鬼怒川の堤防が決壊し、広範囲

での浸水等の大規模な災害があったのは、記憶に新しいところです。身近な地域の大規模災害に危機管理体制の整備をさらに痛感した1年でありました。

本年は、国民にとつての大きな転換点を複数迎えることとなります。

なかでも、改正公職選挙法が本年6月に施行され、選挙権が1945年以来70年ぶりに改正、夏の参院選から18〜19歳の国内約240万人が有権者に加わることとなります。

政治がより身近になる一方で、若年層が政治への関心を持てるよう主権者教育や行政施策のアピールの重要性がより一層高まることと言つても過言ではありません。

また、議会議場にビデオカメラを設置し、防災対応型エリア放送等を活用して、議会中継の発信を積極的に推進するものとして準備を

しております。

このように、市民に開かれた議会を目指し、議会の機能強化と充実、運営の改善等を引き続き推進してまいりますので、市民の皆さまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして幸多い年となりますことを心から祈念いたします。新年のごあいさつといたします。



「開かれた市議会」

の実現を目指して

行方市議会議長 鈴木 義浩